医療法人　　雄仁会　　広報誌

ゆうじんかい

発行元
医療法人　雄仁会
〒８７８－００１３
大分県竹田市大字竹田１８５５
☎　０９７４－６３－２３３８
ＦＡＸ　０９７４－６３－２３３９

第３号　　平成１６年　１１月

雄仁会　基本理念

安全・信頼・満足

１、患者様の立場を尊重し、真心のこもったサービスを提供します。
２、仕事に使命感を持ち、業務の改善に努めます。
３、他部門と連携してチーム医療を遂行します。
４、地域社会から愛される医療機関を目指します。

【豊後竹田駅より臨む加藤病院。名水遊歩道は今の時期は紅葉が美しく、夜はイルミネーションが灯ります。】

雄仁会　紹介

医療法人　雄仁会　加藤病院は、昭和２６年に設立され、交通の便に恵まれた街の中にありながら、前面には名水豊かな稲葉川が流れ、緑豊かな山々に囲まれ四季折々に味のある風景が広がっている治療環境のもと、地域に根ざした明るく開放的な病院を目指して努力してまいりました。

診療科は精神科、神経内科、心療内科、皮膚科で、病床数２１２床は精神病棟、老人性痴呆疾患治療病棟からなり、平成８年には介護老人保健施設を併設して、地域の医療・保健・福祉を担う医療法人として幅広く活動を展開しています。

医療法人雄仁会はこれからも２１世紀の精神科病院、介護老人保健施設に求められる使命を全うし、地域から信頼される医療法人として貢献してまいります。

巻　頭　言

医療法人　雄仁会
総括部長　加藤 隆子

“今こそ地域の精神科病院として
質の高い医療を提供するために“

当院は半世紀を越える歴史の中で、地域の精神医療の向上に、力を尽くしてきました。少子高齢化が進み“心の時代”ともいわれる21世紀において、メンタルヘルスへの関心の高まり、時代の流れとともに変わった疾病の変化、精神科病院を取り巻く環境は大きく変わり、また、さらに変化していくことが要求されています。

当院もその大きな流れに取り残されないよう、地域の精神科病院として質の向上を図り、客観的評価を受け、信頼を揺ぎ無いものにするため、今年度の目標を、“病院機能評価”の認定取得に置き、職員一丸となって取り組んでおります。

そもそも、客観的評価を受けるとは、第三者である患者様、ご家族、地域の方々の声に耳を傾け、そしてその中から課題を見い出し、病院全体で共有化し、具体的に改善策へと結びつけ、病院の姿をきちんと伝えることに意義があるのだと思います。

さらに学術的な視点から中立的な立場で評価していただいた結果を、来年6月頃には認定証というかたちにして、地域の皆様に還元できればと思っています。

また、まだまだ足が遠のいてしまいがちな受診への抵抗を、少しでも柔らげていただき、気軽に足をむけられる開かれた病院を目指し、社会復帰までを視野に入れたサポート体制を充実するとともに、地元行政、保健、福祉サービスへの橋渡しの役割を担うため、今年の9月からは地域連携室を増設いたしております。各分野の専門職である、医師、保健師、精神保健福祉士、ケアマネージャーが配属されており、地域の総合相談窓口として、患者様、ご家族にいつでもご利用いただけます。

地域で様々な悩みや障害をかかえ、生活している方々に住み慣れた町でいつまでも安心してくらしていただけるよう、地域の皆様の「こころのかかりつけ医」として21世紀の、保健、医療、介護、福祉の実践に努めてまいりたいと思います。

ご　挨　拶

介護老人保健施設　岡の苑
事務長　後藤 光明

“病院機能評価機構受審の
経験を岡の苑の機能評価に“

岡の苑に入り早くも５ケ月が経過しました。長い間行政に携わりその中で福祉職場の経験の経験はあるものの医療関係は全くの素人です。最初は、会議の中で医療用語が飛び交う度に戸惑いがありましたが少しずつ慣れてきました。

さて、雄仁会加藤病院では、来年３月、日本病院機能評価機構の評価・認定の受審まで余すところ６ヶ月を切り、院長先生はもとより職員の取り組みが日に日に真剣さを増しています。各部門の力を総結集し、予定どおり機能評価・認定を獲得できた暁には、その貴重な体験は次に予想される岡の苑の機能評価の際、大いに生かされるものと期待しています。介護保健制度が発足して５年が経過し、現在、国において制度全般につき見直しが検討されています。その中で施設給付の見直しや、施設が有する様々な機能を地域に展開していくことなど多岐に亘る項目が案としてあげられており注視していきたいと考えています。今後とも宜しくお願いします。

ゆうじんかい

行事紹介

夏

8月

9月

10月

秋

9月16日（土）、加藤病院、多目的ホールで敬老会が行われました。院長先生の挨拶の後、95歳以上の方3名、90歳以上の方15名、一人一人に記念品が贈呈され、皆さんしっかりとした口調でお礼を述べていました。今回は日本3Ｂ体操協会の峯田さんと、江上設備の社長さんがボランティアで協力して下さいました。最後に職員がひょっとこの格好をして踊り、笑いをさそって終始和やかにすごされていました。

(院長先生からの記念品贈呈の様子)

(吉田神楽を楽しむ様子)

恒例の夏祭りお年寄り楽しむ！

老人保健施設「岡の苑」で夏祭りがあり、入所のお年寄りと、リハビリセンター利用の利用者、家族、職員ら約百五十人が過ぎ行く夏を楽しんだ。

いつもとは異なった遊び感覚を大切に、ゲームや神楽、踊りをみんなで楽しむ企画。残暑が厳しいのと車イスのお年寄りが多いため、ホールを会場に聞かれた。

お年寄りは、ヨーヨー釣りで童心に帰り、吉田神楽座員は、勇壮な中にもユーモラスな舞を疲労して会場を沸かせ、浴衣姿の職員らも盆踊りと、会場は明るい笑い声が絶えなかった。

(8月31日 大分合同新聞朝刊より)

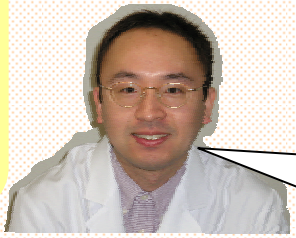
10月30日（土）午後2時から、加藤病院多目的ホールで、患者様のご家族を対象に「うつ病」教室が開催されました。講師は加藤病院診療部長甲斐清隆先生で、「うつ病を正しく理解するために」というテーマで講演されました。

① うつ病とはどんな病気なのか
②うつ病にはどんな治療が必要なのか
③うつ病患者様への家族はどう接すればよいか

という内容で話をされ、皆さん熱心に耳を傾けていました。「かかりやすい性格はあるのか」等多くの質問も出され、「うつ病教室」に対するニーズの高さを知ることが出来ました。

うつ病の患者様への接し方のポイントは、次の通りですので参考にして下さい。

① 励まさない
② 気分転換を勧めない
③ 重大な判断事は後回しにさせる
④ 「回復期」こそ自殺に注意する
⑤ 「怠け」ではないことを理解する
⑥ 過剰なおもいやりは控える



甲斐です。うつ病は早めの治療が大切です。お悩みはお気軽にご相談下さい。

地域連携室を設置しました！　　地域連携室長　後藤 奈穂

この度雄仁会では、豊肥地域の医療機関や福祉(介護)施設との連携を強化すると共に地域との窓口機関として、地域連携室が発足しました。地域連携室の設置により、これまで以上に連携先への紹介・情報共有がスムーズに行え、患者様の利便性が最大限に発揮されることとなりました。

地域連携室の業務内容

- 連携先の医療機関・介護・福祉施設の情報収集・情報発信
- 患者様・施設利用者様及びご家族からの相談支援
- 精神障害者・痴呆性高齢者についての相談支援
- 健康な心についての相談支援　　他

地域連携室のスタッフ

- 顧問・・・院長：加藤 一郎　診療部長：甲斐 清隆
- 地域連携室長・・・保健師： 後藤 奈穂（写真：下段中央）
- その他スタッフ・・・精神保健福祉士・介護支援専門員・ 看護師

営業時間

月曜～土曜　　８：３０～１７：００

電話番号

TEL　0974-64-0113(直通)
TEL　0974-63-2338(内線500)
TEL　0974-63-3837(内線500)
Fax　0974-64-0113（24時間対応）

【はじめまして。地域連携室のスタッフです！】

まだまだ走り始めたばかりの地域連携室ですが、心のかよった相談支援で、少しでも地域の皆様のお力になりたいと考えています。不十分な点もあるかと思いますが、ご利用して頂けたらと思います。よろしくお願いします。

介護支援専門員（ケアマネジャー）　荒巻 恵

居住している住宅に手すりを取り付けるなどといった改修を行った場合、いったん全額を自己負担したのち、市町村に申請をすると９割相当分が支給されます。残りの１割は利用者負担となります。（高額介護サービス費等貸付申請を利用することも可能です）

【対象者】
心身機能が低下した在宅の要介護者（要支援、要介護１～５）

【支給額】
同一の住宅に対して原則１回で、支給限度基準額は要支援、要介護１～５の区分にかかわらず、定額の２０万円となっています。
（ただし、転居や要支援、要介護状態の区分が著しく、重くなった場合は再度受けられます）

【住宅改修の範囲】
① 手すりの取り付け
② 段差の解消
③ すべりの防止および移動の円滑化のための床または通路面の材料の変更
④ 引き戸などへの扉の取り替え
⑤ 洋式便器などへの便器の取り替え
⑥ その他①～⑤の改修の付帯して必要な住宅改修

【改修の流れ】
① ケアマネージャー等が住宅改修プランを利用者と検討し理由書を作成します。
② 改修施工業者の見積作成。契約後改修の施工。費用の１０割支払い。
③ 支給申請書を市町村に提出（理由書、領収書など）
④ 市町村より材料費の９割を利用者の指定口座に振り込み。

集団栄養指導を実施して
栄養管理部長　藤沢 初子

９月１４日（火）、精神科デイケアルームにて、数名の方を対象に「高脂血症」の集団栄養指導を約1時間致しました。コレステロールの数値の高い方をピックアップして、主治医より指示のあった方が対象です。最初は、渋々の出席の方もいらしたのですが、集団指導も3回めともなると　皆さんの表情も和らぎ、効果が少しでもめに見えてくると、益々頑張ろうしている姿と、集団ということでお互いが刺激しあい、意欲が生まれ、思いがけない相乗効果を醸しだしました。

これからの課題は、この栄養指導で学んだことを、皆さんが、一過性のものにせず、いかに継続していくことが出来るか、ではないでしょうか。その為に微力ながら応援していきたいと思っています。

高脂血症の一口メモ

高脂血症とは、血液中に溶けている脂質（コレステロールや中性脂肪など）が異常に多い状態のことで、いわゆる血液がドロドロになっている状態です。その状態が動脈硬化につながり、さらに心臓病や脳梗塞を引き起こす可能性を高めます。

特に自覚症状は無いため見過ごされがちなのですが、健康診断の血液検査で気付くことが多く、コンビニやファーストフードの浸透により、若者の高脂血症が増加傾向にあります。いくつかのタイプに分かれますが、原因となるのは全て食生活をはじめとする生活習慣にある為数値の気になる方は食生活の改善から始めましょう。

新 人 紹 介

今回は診療放射線技師の **柚木 教博** さんを紹介します。

柚木さんは北九州市の出身で、ＮＢＵメディカルカレッジを卒業。診療放射線技師の国家試験に合格され、今年８月から加藤病院で仕事をされています。加藤病院では待望の診療放射線技師で、入社当初から忙しい毎日を送られています。

「患者様の名前を覚えるのが大変です。」と言いながらもテキパキと仕事をこなされています。

現在、職員寮で一人暮らしをされていますが、休みの日は大分市に出かけたりして、気分転換をしているようです。

「将来は立派な技師になりたいです。」とさわやかに抱負を語ってくれました。

皆さん、柚木さんをよろしくお願いします。

現在２４歳。彼女募集中です！

編　集　後　記

広報委員長　岑 浩

広報委員会が発足して早くも一年が経過し、今回で３回目の広報誌を発行することができました。初回の発行で、広報誌の名前を募集してご応募をいただきましたが、広報誌名を“ゆうじんかい”で継続していくことと致しました。多数のご応募ありがとうございました。

今年の６月からは雄仁会のホームページを開設してホームページでもご覧いただくことができるようになりました。是非ご覧下さい。“ゆうじんかい”の“ゆうじん”は友人になりましょうの意味を込めています。今後もできるだけ多くの方々にご覧いただくために、より良い広報誌を作っていきたいと思っています。広報誌として不十分な点も多いかと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

ホームページアドレス　http://www16.ocn.ne.jp/~yuujin/

ご　案　内

加藤病院

診療科

- 心療内科
  （ストレス病、うつ病、不眠症）
- 神経内科
- 精神科
- 皮膚科（火曜　午後２時～）

診療時間
午前９：００～午後５：００
（日曜日・祝日は休診）

面会時間
午前９：００～午後６：００

岡の苑

介護老人保健施設

- 通所リハビリテーション
- 入所・短期入所
- 痴呆専門病棟
- 訪問介護ステーション
- 指定居宅介護支援事業所

通所時間
午前９：４０～午後３：３０
（日曜日は休み）

面会時間
午前８：００～午後７：００

発行元　　〒８７８－００１３
医療法人　雄仁会　　大分県竹田市大字竹田１８５５
☎　０９７４－６３－２３３８
ＦＡＸ　０９７４－６３－２３３９
ホームページアドレス　http://www16.ocn.ne.jp/~yuujin/